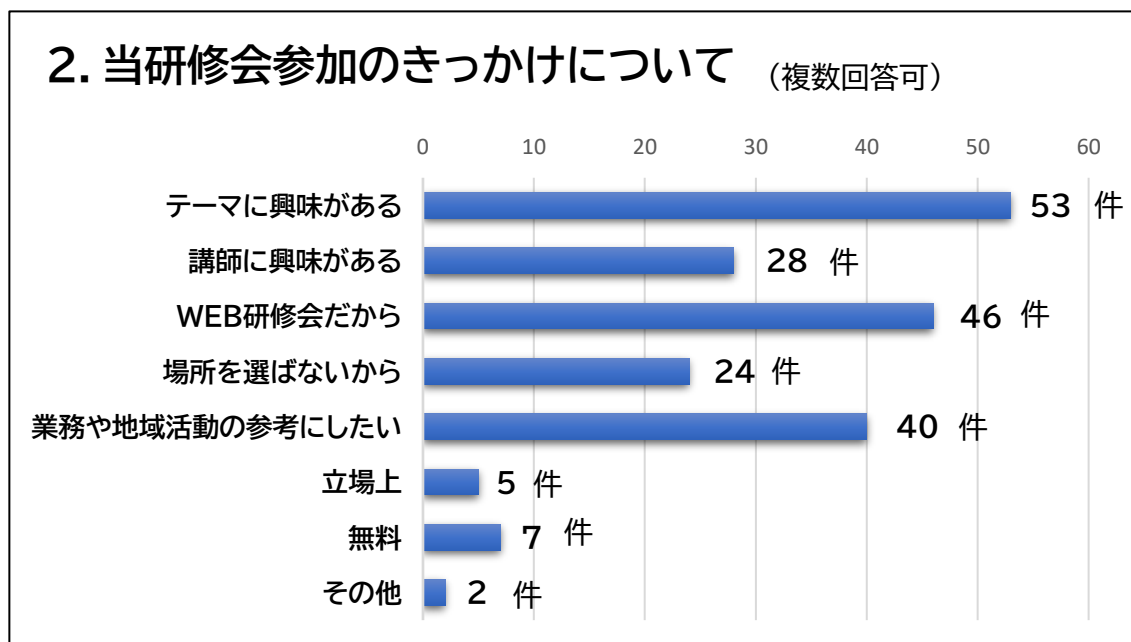
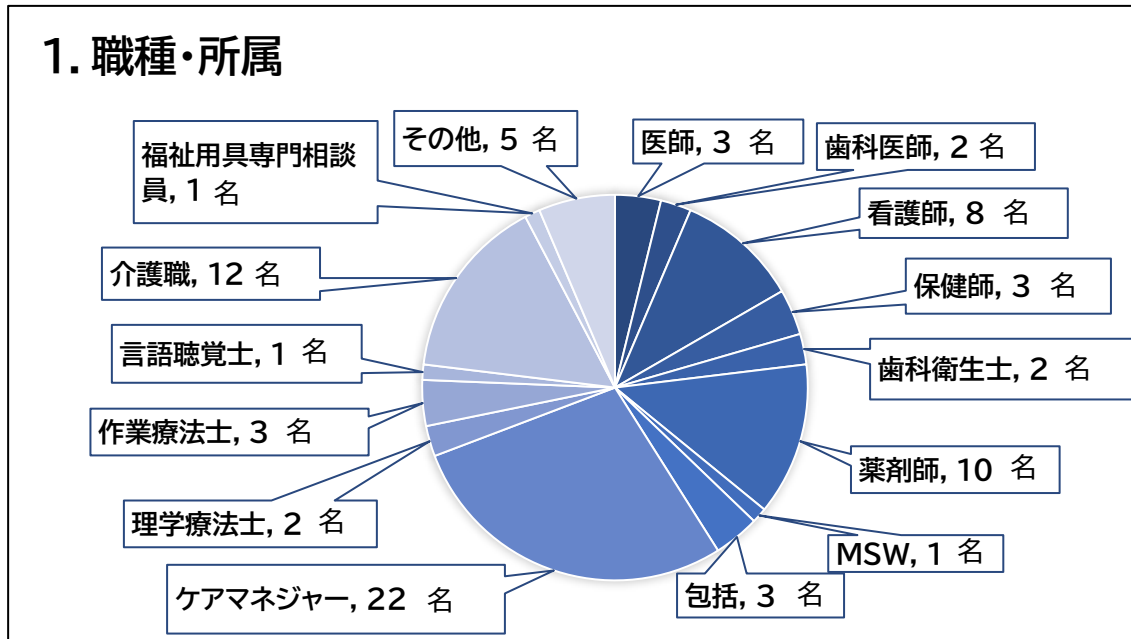
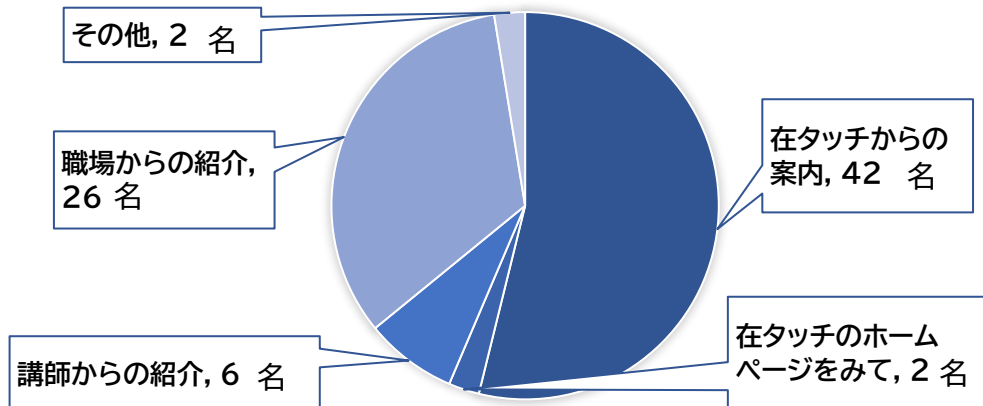


「身体からのフレイル予防」アンケート集計結果

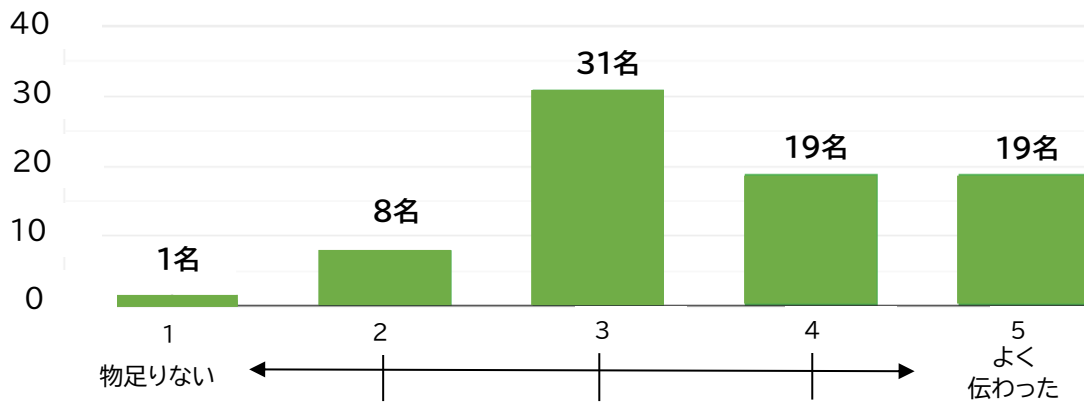
ライブ配信視聴者:303名 アンケート回答者:78名(回答率:25.7%)



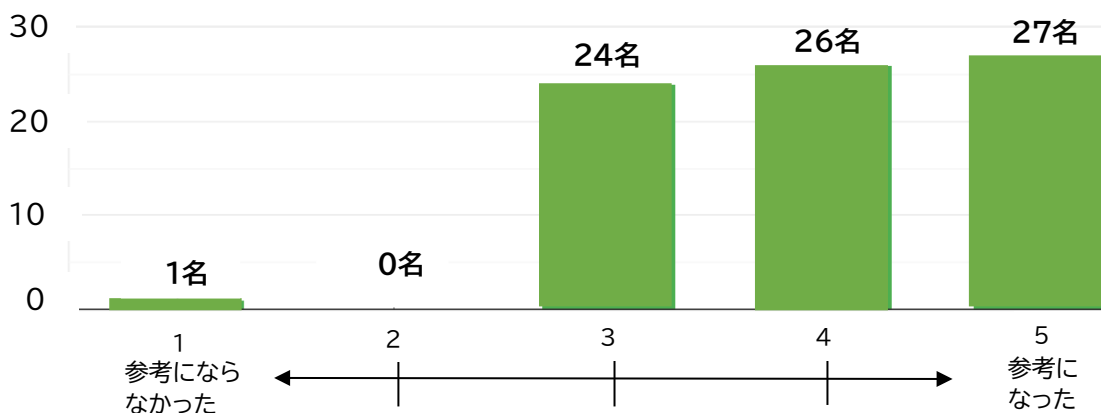
3. この研修会の情報は何で知りましたか？



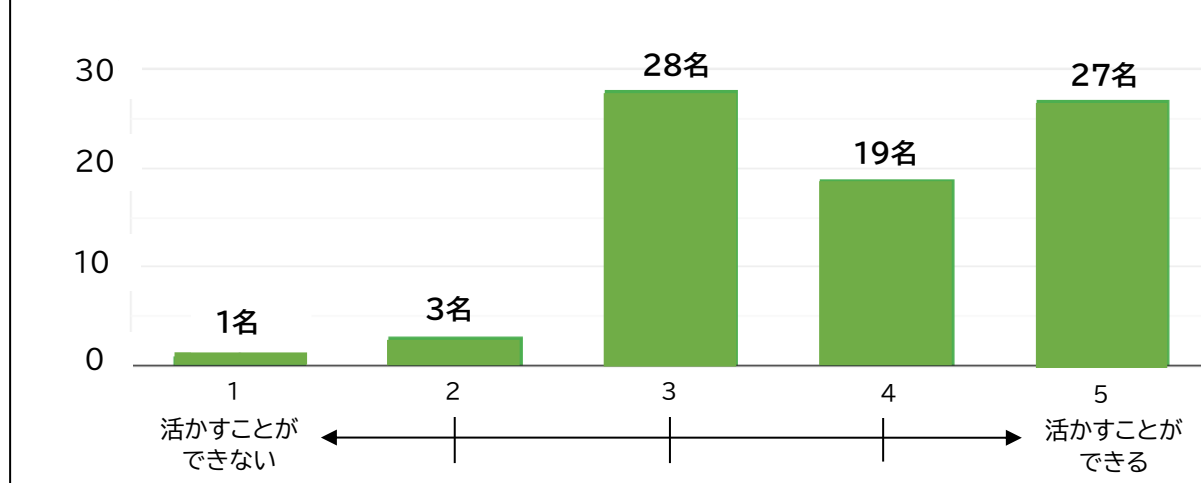
4. ライブでの研修会の伝わり方はいかがでしたか？



5. 研修内容は参考になりましたか？



6. 今後の日常業務に活かすことが出来そうですか？



7. 感想 ※自由記載から抜粋

～講演に関して～

*フレイル予防が自立支援や地域作りに繋がっていること、とても興味深い内容でした。大変勉強になりました。

*フレイル、サルコペニア、ロコモティブの違いが丁寧に伝わりました。

*地域リハビリテーションの考え方をもっと知りたいです。

*歩いているだけでは筋肉を増やせないというところ

*客観的指標や運動の負荷等を利用者様に活かして行きたいです。

～パネルディスカッションに関して～

*何においても、主語はだれ？自己決定できない人は？など、そこが大事になると思いました。

*社会的孤立には、経済問題もあることが分かりました。

*急性期病院の相談員として、フレイル対策としても、「本人らしい生活」「本人の望むこと」「本人のなりたい姿」を確認してモチベーションを高め、行動変容を起こすことができるよう、それをしっかりサポートできる支援者チームをつくり繋げていくことが自分たちの役割なのだと、あらためて思いました。

*印象に残った言葉は①フレイルを考えると主語は誰か②ゴールを目に見える形にする③心の概念を含めた地域包括ケアです。

*ディスカッションにおいては、他職種の方がパネラーでしたので、ひとつのことでもそれぞれ少しづつ違った目線でもとらえられている所が興味深く、今後考えてゆく上で多視点から見る必要があること等をあらためて感じ、大変勉強になりました。

*目標を持つことだけでなく、小さな楽しみから身体、心の意欲につながっていく事が分かりました。

*ディスカッションとても楽しかったです。”主役”は誰か”主役のニーズを把握する”本当に大切な事だと思いました。皆がこのことを忘れず関わっていかねばと思います。